

国保保険税(料)の収納率向上に向けて

本会では去る10月16日、厚生労働省の国保料(税)収納率向上アドバイザー(岐阜県各務原市市民生活部税務課専門事務職員)の磯谷伊久雄氏を講師に迎え「令和6年度保険税(料)収納事務担当者研修会」を開催しました。

講師が解説されたポイントは次のとおりです。



磯谷氏

1 各務原市における収納率向上対策の例

- (1) 各務原市滞納整理基本方針(平成22年度策定)の2本柱
低所得者対策: きめ細かい納付相談による納付の推進。
高所得者(悪質滞納者)対策: 滞納処分の強化。
- (2) 滞納処分の強化
財産調査、差押調書等をシステムから出力。高額滞納者から順に積極的な差押の実施。
- (3) 月1回の徴収対策会議の実施
月締めの収納率の報告。徴収嘱託員の進捗状況管理・確認。困難事例の共有・解決。
- (4) 休日、平日夜間窓口の開設
きめ細かい納付相談の機会を増やす。広報誌等で積極的に周知。
- (5) 会計年度任用職員の有効活用
財産調査、交付要求、差押調書・配当計算書・充当通知書等の作成。
- (6) 税務課との情報の共有化
滞納者の折衝記録、差押、交付要求、執行停止などの情報を共有。
- (7) 税務課との兼務辞令による滞納処分強化
徴収職員が税務課との兼務となり、合同の納付相談、差押、搜索の実施、積極的な人事異動。
- (8) 税務課との合同研修
研修会参加者による報告会を両課全職員を対象に開催し、職員の滞納整理へのスキルアップを図る。
- (9) 窓口業務の委託化
納付相談以外の窓口業務を民営化し、職員が日常の業務に取り組む時間を確保。
- (10) 徴収嘱託員の活用
現年度分の集金を中心にし、督促状発送後すぐに訪問徴収。
- (11) 納付チャンネルの拡大(クレジット収納開始)
新規滞納者を発生させないための納付環境の整備。(令和2年度からスマートフォン決済納付を導入。)

2 収納率向上対策の決め手(体験談から)

- (1) 管理職の強いリーダーシップ: 人材・予算の確保。コーチングと的確な指示。上司としての見本を示し、部下との信頼関係を築く。目標の設定。
- (2) ネットワークの有効活用: 全国と同業者への相談。
- (3) 徴収体制の整備: 庁内の横の連携の強化。職員が徴収に専念できる環境整備。
- (4) 職員の意識改革: 正義感・自信を持って、きちんと納税している住民のために働く。トラブルに怯え、仕事を先送りしない。

3 まとめ

- ◎滞納整理の基本は「早期の」財産調査、差押、執行停止。
- ◎納期限内に納めている大半の納付者の目線で業務を遂行。
- ◎自分たちに合った徴収方法を探し、まずはやれることから始める。